

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

頭痛・歯痛・神経痛・生理痛・解熱

ハイメーセス

医薬品

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

1. 次の人は服用しないでください。

- (1)本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3)15歳未満の小児。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用時は飲酒しないでください。

4. 長期連用しないでください。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。

- (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3)高齢者。
- (4)本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (5)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6)次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。

(1)服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれます。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれます。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれます。
ぜんそく	

(2)5～6回服用しても症状がよくなる場合

〔効能又は効果〕

- (1)頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛。
(2)悪寒・発熱時の解熱。

〔用法及び用量〕

次の量を、なるべく空腹時をさけて服用してください。

年 齢	1 回 量	1 日 服 用 回 数	服 用 間 隔
15歳以上	1 包	3 回を限度	4 時間以上
15歳未満	服用しないこと		

〔成分及び分量〕

1 日 量 (3 包) 中

アスピリン1,098mg アセトアミノフェン600mg
無水カフェイン150mg カンゾウ末282mg
添加物としてカルメロースカルシウム、バレイシヨデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、メチルセルロースを含有する。

〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1)直射日光の当たらない、湿気の少ない、涼しい所に保管してください。
(2)小児の手の届かない所に保管してください。
(3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
(4)本品は静電気を帯びやすく、服用時、分包中に残ることがありますが、湿気による変化ではありません。
(5)期限をすぎた製品は服用しないでください。

お客様相談窓口 TEL 076-476-1111
9:00~16:30 (土、日、祝祭日は除きます。)



製造販売元
明治製薬株式会社
富 山 県 滑 川 市 中 川 原 77